

# 日医ニュース

2022. 4. 5 No. 1454

日本医師会  
Japan Medical Association  
〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16  
電話 03-3946-2121(代)  
FAX 03-3946-6295  
E-mail www.info@po.med.or.jp  
https://www.med.or.jp/  
毎月2回 5日・20日発行 定価 2,400円/年(郵税共)



トピックス

- 定例記者会見 ..... 2~4面
- 第5回生命を見つめる  
フォト&エッセー  
日本医師会賞受賞作品紹介  
..... 7面
- 医療機関等への支援措置  
延長を決定 ..... 8面

## 日本医師会・四病院団体協議会・全国有床診療所連絡協議会 医師独自の宿日直基準の設定等を求める要望書を 後藤厚労大臣に提出



日本医師会は四病院団体協議会並びに全国有床診療所連絡協議会と共に医師の「宿日直許可」の問題について、医師独自の宿日直基準を設けること等を求める要望書を取りまとめ、3月18日、中川俊男会長らが厚生労働省を訪問し、後藤茂之厚労大臣に手交した。

日本医師会では、医師の働き方改革の大きな課題の一つである医師の「宿日直許可」の問題について、医師の働き方改革が産科医療機関における宿日直体制にもたらす影響等のアンケート調査を実施。その結果を基に、新型コロナウイルス感染症への対応と働き方改革への準備という二つの大きな課題への取り組みを現場に求めることは非常に厳しいと訴えるとともに、医師独自の宿日直基準を設けること等を求めてきた。

今回の共同の要望書提出は、この要望の実現を目指す日本医師会からの呼び掛けに、四病院団体協議会並びに全国有床診療所連絡協議会が賛同したことにより、実現したものである。要望書では、現状の許可基準のままでは、罰則付き時間外労働時間上限規制、勤務間インターバル規制、連続勤務時間制限が導入されれば、「大学病院からの応援で成り立っている地方の医療機関では、宿日直許可が取れないために、通算の上限時間超過を懸念する大学病院から医師を引き揚げられ、医療提供体制を縮小せざるを得なくなる」とする。また、「上限規制により大学から他の医療機関への応援が制限されると、副業・兼業先からの収入が得られなくなった大学病院の医師が離職して、処遇のよい一般病院に移る動きが起り、大病院の診療、研究、教育の質の確保が困難となり、これらがどの地域・診療科・医療機関・大学でどの程度起るか予想できないばかりか、こうした動きは既に起きている」と指摘。その上で、

(1) 宿日直許可自体の判断基準、(2) 宿日直許可の回数等、(3) 行政の対応、(4) 罰則規定の取り扱いについて、その改善を求めている。

(1)では、①各々の医師について、宿直時の睡眠時間が十分でない日(例えば、睡眠時間が6時間程度に満たない日)が月に5日以内である場合②宿日直中に救急等の業務が発生する場合でも、その業務時間が平日の業務時間と比べて一定程度の割合に収まっている場合③特にリスクな分娩が主となる産科医療機関においては、分娩数にかかわらず、ハイリスクな分娩を扱う産科医療機関においては、宿日直中の分娩等の対応が月8~12件程度の場合

を認めてもらえるよう要望。

(2)では、①医師の健康に配慮しつつ、地域医療提供体制を維持するために、医療機関における各医師の宿日直について、宿直を月8回、日直を月4回まで許可を認め、②他の医療機関に宿日直の応援に行く医師の場合、③で示した宿日直回数については、派遣元と応援先の宿日直回数をそれぞれ分けて取り扱う④各々の医師の連日の宿日直について許可を認めることを求めている。

また(3)では、医師独自の宿日直許可基準を明確化し、対応の統一を図るとともに、実態に合わない判断が出された場合、厚労省に相談できる窓口を設置すること、(4)では、基準を見直したとしても、現状では全国の医療機関が新型コロナウィルス感染症対応に全力で当たっており、働き方改革に取り組める状況にないとして、時間外労働時間の上限規制の罰則適用を数年猶予すること等をそれぞれ要請している。

### 医療AIに関する提言

1. 人間の尊厳と公共性、包括性、公平性を高める医療AIであること
2. 人間の意思を尊重し、医療の公共性を守る医療AIであること
3. 人間が理解し、判断の根拠を説明できる医療AIであること
4. 医療AIの使用による事故の責任が明確であること
5. 継続的に開発・改良できる医療AIであること
6. 医療AIに関する教育と研究を推進すること

生命倫理懇談会(座長：永井良三自治医科大学長)が会長諮問「医療AIの加速度的な進展をふまえた生命倫理の問題」について答申を取りまとめ、3月1日に中川俊男会長に提出した。本答申は、(1)はじめに：問題の背景、(2)AIの応用と技術的限界、(3)AI規制とガイドライン：世界の検討動向、(4)AI開発と利用における説明と責任、(5)AI開発と利用における個人情報の扱い、(6)まとめと提言から構成されている。

(4)では、倫理的課題として、医療AIを日本の医療の中でどのように位置付けていくべきかを問う医療のグランドデザインに関する論点の他、医療AIの利用による医療全体への影響を考へる論点として、患者、市民、医療従事者の視点から重要なこと等を指摘している。

(5)では、倫理的課題として、医療の進歩、医療基盤の整備には医療データの活用が必要となる一方で、どのように個人情報保護するか、患者と医師との関係への影響について記している他、医療情報の利活用には柔軟性と安全性を兼ね備えた

それぞれ分けて取り扱う④各々の医師の連日の宿日直について許可を認めることを求めている。

また(3)では、医師独自の宿日直許可基準を明確化し、対応の統一を図るとともに、実態に合わない判断が出された場合、厚労省に相談できる窓口を設置すること、(4)では、基準を見直したとしても、現状では全国の医療機関が新型コロナウィルス感染症対応に全力で当たっており、働き方改革に取り組める状況にないとして、時間外労働時間の上限規制の罰則適用を数年猶予すること等をそれぞれ要請している。

生命倫理懇談会(座長：永井良三自治医科大学長)が会長諮問「医療AIの加速度的な進展をふまえた生命倫理の問題」について答申を取りまとめ、3月1日に中川俊男会長に提出した。本答申は、(1)はじめに：問題の背景、(2)AIの応用と技術的限界、(3)AI規制とガイドライン：世界の検討動向、(4)AI開発と利用における説明と責任、(5)AI開発と利用における個人情報の扱い、(6)まとめと提言から構成されている。

(4)では、倫理的課題として、医療AIを日本の医療の中でどのように位置付けていくべきかを問う医療のグランドデザインに関する論点の他、医療AIの利用による医療全体への影響を考へる論点として、患者、市民、医療従事者の視点から重要なこと等を指摘している。

(5)では、倫理的課題として、医療の進歩、医療基盤の整備には医療データの活用が必要となる一方で、どのように個人情報保護するか、患者と医師との関係への影響について記している他、医療情報の利活用には柔軟性と安全性を兼ね備えた

### 令和2・3年度生命倫理懇談会答申 「医療AIの加速度的な進展をふまえた 生命倫理の問題」まとめ

「医療AIの加速度的な進展をふまえた生命倫理の問題」まとめ

生命倫理懇談会(座長：永井良三自治医科大学長)が会長諮問「医療AIの加速度的な進展をふまえた生命倫理の問題」について答申を取りまとめ、3月1日に中川俊男会長に提出した。本答申は、(1)はじめに：問題の背景、(2)AIの応用と技術的限界、(3)AI規制とガイドライン：世界の検討動向、(4)AI開発と利用における説明と責任、(5)AI開発と利用における個人情報の扱い、(6)まとめと提言から構成されている。

(4)では、倫理的課題として、医療AIを日本の医療の中でどのように位置付けていくべきかを問う医療のグランドデザインに関する論点の他、医療AIの利用による医療全体への影響を考へる論点として、患者、市民、医療従事者の視点から重要なこと等を指摘している。

(5)では、倫理的課題として、医療の進歩、医療基盤の整備には医療データの活用が必要となる一方で、どのように個人情報保護するか、患者と医師との関係への影響について記している他、医療情報の利活用には柔軟性と安全性を兼ね備えた

日本医師会

# 定例記者会見

3月9・16日

## ウクライナ国民への

## 医療支援について



中川俊男会長は3月9日、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻により、ウクライナ国民に大きな被害が出ている現状

を踏まえ、世界医師会によるウクライナ国民への医療支援を目的とした寄附金の募集に呼応し、1億円の寄附を行うことを決定し、直ちに世界医師会に送金したことを報告した。

また、都道府県医師会を通じて、全国の医師会と医師会員に対して寄附を呼びかけ、ウクライナに医療物資や資金が活用されることなどを説明した。

その上で、中川会長は、「日本医師会の寄附金による支援がウクライナに確実に届き、ウクライナ国民の医療に貢献すること、そして一人でも多くの命が救われることを願ってやまない」と強い思いを述べた。

なお、今回の日本医師会による1億円の寄附を公表した中川会長の記者会見の内容は、世界医師会に同日報告され、プレスリリースとして世界に向けて発信された。

謝状（右掲）が寄せられたことを報告。欧州から遠く離れた日本医師会から1億円の寄附金が即座に送られたことは、医療支援をタイムリーに可能とし、かつ、世界の医療界がこの痛ましい状況に着目し、医療支援の手を差し伸べている現実、近隣諸国の医師会は勇気付けられ、励まされ、取り残されていないことが実感されたとして、金額以上の価値があるものを受け止められていることを紹介した。

更に、今回の寄附金については「ウクライナ医療支援基金」の原資となること、また、基金は運営委員会が管理し、世界医師会、欧州医師常設委員会、欧州医師会フォーラム及び近隣の各国医師会が構成される「タスクフォース・ウクライナ」が運営を担うことを概説。日本医師会としても、オトマー・クロイバー世界医師会事務総長からの招待を受けて、「タスクフォース・ウクライナ」に参加し、提案を行っていくことになったことを明らかにした。

医療物資に関しては、欧州における調達困難とされる中で、ウクライナ医師会から入手したり、ストに基づき、イスラエルで調達されたことを報告。医療物資は、在イスラエルのウクライナ大使館がポーランドへ、そしてマゾフシェ県知事の支援によりワルシャワからウクライナ国境へそれぞれ搬送し、国境でウクライナ医師会が受け取った上で、国内の医療機関へ配布されることになっていることを説明するとともに、「タスクフォース

令和4年3月15日

## ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に対する緊急声明

公益社団法人日本医師会

- |        |         |        |        |
|--------|---------|--------|--------|
| 北海道医師会 | 青森県医師会  | 岩手県医師会 | 宮城県医師会 |
| 秋田県医師会 | 山形県医師会  | 福島県医師会 | 茨城県医師会 |
| 栃木県医師会 | 群馬県医師会  | 埼玉県医師会 | 千葉県医師会 |
| 東京都医師会 | 神奈川県医師会 | 新潟県医師会 | 富山県医師会 |
| 石川県医師会 | 福井県医師会  | 山梨県医師会 | 長野県医師会 |
| 岐阜県医師会 | 静岡県医師会  | 愛知県医師会 | 三重県医師会 |
| 滋賀県医師会 | 京都府医師会  | 大阪府医師会 | 兵庫県医師会 |
| 奈良県医師会 | 和歌山県医師会 | 鳥取県医師会 | 島根県医師会 |
| 岡山県医師会 | 広島県医師会  | 山口県医師会 | 徳島県医師会 |
| 香川県医師会 | 愛媛県医師会  | 高知県医師会 | 福岡県医師会 |
| 佐賀県医師会 | 長崎県医師会  | 熊本県医師会 | 大分県医師会 |
| 宮崎県医師会 | 鹿児島県医師会 | 沖縄県医師会 |        |

このたびのロシアによるウクライナへの軍事侵攻は、恒久の平和と自由を願う世界の秩序を踏みにじるものであり、決して認めることはできません。

連日、一般市民がロシア軍の無差別攻撃にさらされ、幼い子どもを含む多くの尊い生命が奪われています。わたしたちは、すべての人々の生命と健康に奉仕する医師として、こうした状況を許すことはできません。

医療施設も攻撃を受けています。しかし、医療の中立性と人権は絶対に尊重されなければなりません。

日本医師会は世界医師会の呼びかけに応じ、去る3月9日にウクライナへの医療支援のために1億円の寄附を行いました。引き続き、世界医師会に加盟する各国医師会と連帯し、ウクライナへの医療支援を継続します。

わたしたちの心は、ウクライナのみなさん、そして、ウクライナで医療に従事する仲間とともにあります。

日本医師会および全国の都道府県医師会は、ロシアの軍事侵攻に強く抗議します。そして、ロシア軍のウクライナからの即時撤退および対話と交渉による一日も早い平和的解決を願っています。

3月16日の記者会見では、まず、15日に47都道府県医師会との連名でロシアの軍事侵攻に強く抗議するとともに、ロシア軍のウクライナからの即時撤退及び対話と交渉による一日も早い平和的解決を願う「ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に対する緊急声明」（上掲）を取りまとめ、全国の都市区医師会に発出するとともに、英語版を世界医師会加盟112カ国医師会に送付したことを公表した。

中川会長は、また、ウクライナへの医療支援として日本医師会が1億円を寄附したことに対して、ハイジ・ステンスマレン世界医師会会長から感謝状（右掲）が寄せられたことを報告。欧州から遠く離れた日本医師会から1億円の寄附金が即座に送られたことは、医療支援をタイムリーに可能とし、かつ、世界の医療界がこの痛ましい状況に着目し、医療支援の手を差し伸べている現実、近隣諸国の医師会は勇気付けられ、励まされ、取り残されていないことが実感されたとして、金額以上の価値があるものを受け止められていることを紹介した。

更に、今回の寄附金については「ウクライナ医療支援基金」の原資となること、また、基金は運営委員会が管理し、世界医師会、欧州医師常設委員会、欧州医師会フォーラム及び近隣の各国医師会が構成される「タスクフォース・ウクライナ」が運営を担うことを概説。日本医師会としても、オトマー・クロイバー世界医師会事務総長からの招待を受けて、「タスクフォース・ウクライナ」に参加し、提案を行っていくことになったことを明らかにした。

医療物資に関しては、欧州における調達困難とされる中で、ウクライナ医師会から入手したり、ストに基づき、イスラエルで調達されたことを報告。医療物資は、在イスラエルのウクライナ大使館がポーランドへ、そしてマゾフシェ県知事の支援によりワルシャワからウクライナ国境へそれぞれ搬送し、国境でウクライナ医師会が受け取った上で、国内の医療機関へ配布されることになっていることを説明するとともに、「タスクフォース

2022年3月11日

日本医師会  
会長 中川俊男先生

我々は、2022年3月9日にウクライナ医療支援基金の特別口座で受け取った1億円という貴会の惜しめない時宜を得た寄附に対し、心より感謝申し上げます。

貴会の寄附は、ウクライナと同僚への支援を開始するための大きな助けとなります。また、近隣諸国の加盟医師会にとっても強力な支援です。資金提供は彼らが援助を提供する際に、取り残されていないことを示すものです。

今団結することは、健康、民主主義、そして自由にとって非常に重要です。リーダーシップをとって頂き、ありがとうございます。

欧州医師常設委員会（CPME）、欧州医師会フォーラム（EFMA）、世界医師会（WMA）のタスクフォースの全てのメンバーを代表し、感謝の意を表します。

貴会のイニシアチブは、我々の組織の他のメンバーが、我々の同僚や戦争地域の人々を助けるための我々の取り組みに参加することを奨励するものと確信しています。これらの資金の使用がどのように展開されるか、お知らせいたします。

世界医師会  
会長 ハイジ・ステンスマレン

ご協力願います

# ウクライナ国民への医療支援

銀行名：三井住友銀行 神田支店  
 口座番号：普通預金 3549308  
 口座名：公益社団法人 日本医師会 ウクライナ医療支援金  
 フリガナ名：(社)ニホンイカイ ウクライナイヨウエンキン  
 ※手数料は各自ご負担願います。  
 ※個人の方は寄附金の控除（所得控除または税額控除）、法人（医療法人等）の方は「一般の寄附金」とは別枠で損金算入できます。  
 受付期間：令和4年4月15日（金）まで  
 問い合わせ先：日本医師会経理課 ☎03-3942-6486（直）



政府が、オミクロン株主体の第6波において、コロナとの共存に大きく

4回目の接種に関して、これまでの経験を踏まえ、ワクチン供給量を

通常診察では分からないこと等を詳細に説明。専門科へ紹介して欲しい」と述べるとともに、救急搬送時には高度医療機関に搬送することなどを呼び掛けた。

中川会長は東日本大震災から11年になることを踏まえ、犠牲者に哀悼の意を示すとともに、被災地で長きにわたって復旧に尽力してきた人々に対する敬意を表し、「日本医師会としても引き続き、できる限りの支援を行っていききたい」とした。

また、日本医師会は、震災の教訓を風化させず次の「大規模災害への備え」に生かしていくべく、努めてきたとして、(1)日本医師会災害医療チーム「JMAT」の活動も全国の都道府県医師会等の協力を得ながら体制強化を図っている、(2)3月13日にはオンライン

でJMATの基本編研修を、3月18日には鹿児島県桜島の噴火災害を想定した災害時情報通信訓練を行う、(3)『新型コロナウイルス感染症時代の避難所マニュアル』を改訂し、今月中に第2版を公表するとともに出版も行う——ことを紹介。こうした活動が災害で犠牲になられた方々への報いになる」として、日本医師会の対策をより強化し、深化させていくとの姿勢を示した。

コース・ウクライナ」でも、引き続き医療物資の調達と搬送ルートの確保に取り組みしていくことを強調した。

また、世界医師会からの情報として、ドイツからの遠隔医療等の医療機器の提供、イスラエルやアメリカからの野戦病院の設置に向けた支援など、さまざまな国から大きな支援の動きがあることを報告。今後も、ウクライナへの医療支援の状況に関しては、世界医師会からの情報を基に、必要に応じて報告していく意向を示した。

中川会長は3月16日の記者会見で、3月21日までのまん延防止等重点措置が全面的に解除される見込みであること（17日に正式決定）に理解を示すとともに、解除後も感染防止対策の継続とワクチン接種の推進が重要であることを改めて訴えた。

18都道府県が対象とされているまん延防止等重点措置は、3月21日に全面解除の見通しであるが、それに先立ち、3月11日に開催された新型コロナウイルス感染症対策分科会において、これまでの解除の判断基準を緩和する方針が承認されたことに触れ、「今回の考え方は大幅な方針転換である」と指摘。

3回目の追加接種については、1日約100万回を超え、接種率は全体で3割、高齢者で7割を超えたことを報告する一方、集団接種会場での空きが見られていることを憂慮。「オミクロン株は、たとえ感染しても軽症で済むのではないかと、ワクチン接種の意義が実感しにくいことなどがその要因として考えられるが、オミクロン株でも重症化し、死亡者数も多くなっている」とし、ワクチン接種を更に推進していく必要があるとの考えを示した。

同常任理事はオミクロン株の感染において、咽頭、気管の発赤や腫脹、白苔など高度な炎症が見られる症例や、急性声門下喉頭炎等により上気道狭窄を呈し気道確保を要した症例などが寄せられているとし、その診断には内視鏡が必要であり、通常の診察では分からない

中川会長は、昨年、後発医薬品を製造する企業のうち8社が、国から承認された内容と異なる手順で医薬品を製造するなど、組織的なコンプライアンス欠如により、医薬品医療機器等法に基づく業務停止命令を受けたことを取り上げ、「この影響で、通常どおりの出荷ができていない医薬品が昨年12月時点で約3000品目あり、医療現場では、他の医薬品への処方変更や医薬品卸との頻回な納入交渉など、医療提供に支障を来している」と強調。

本問題は、後発医薬品の製造や出荷の長期間停止・縮小したことが発端ではあるが、その影響を受けて、同じ成分規格や類薬を製造販売する先発品及び後発品メーカーに類薬を製造販売する先発品及び後発品メーカーにおいて、在庫が激減するのを防ぐために出荷を控えたり、新規の受注を断ったりすることも原因となっていると指摘した。

その上で、業界に対しては、供給停止になっただけで、安心して薬物治療を受けて欲しい」と呼び掛けた。

## 新型コロナウイルス感染症の現況等について

中川会長は、3月16日の記者会見で、3月21日までのまん延防止等重点措置が全面的に解除される見込みであること（17日に正式決定）に理解を示すとともに、解除後も感染防止対策の継続とワクチン接種の推進が重要であることを改めて訴えた。

18都道府県が対象とされているまん延防止等重点措置は、3月21日に全面解除の見通しであるが、それに先立ち、3月11日に開催された新型コロナウイルス感染症対策分科会において、これまでの解除の判断基準を緩和する方針が承認されたことに触れ、「今回の考え方は大幅な方針転換である」と指摘。

3回目の追加接種については、1日約100万回を超え、接種率は全体で3割、高齢者で7割を超えたことを報告する一方、集団接種会場での空きが見られていることを憂慮。「オミクロン株は、たとえ感染しても軽症で済むのではないかと、ワクチン接種の意義が実感しにくいことなどがその要因として考えられるが、オミクロン株でも重症化し、死亡者数も多くなっている」とし、ワクチン接種を更に推進していく必要があるとの考えを示した。

同常任理事はオミクロン株の感染において、咽頭、気管の発赤や腫脹、白苔など高度な炎症が見られる症例や、急性声門下喉頭炎等により上気道狭窄を呈し気道確保を要した症例などが寄せられているとし、その診断には内視鏡が必要であり、通常の診察では分からない

中川会長は、昨年、後発医薬品を製造する企業のうち8社が、国から承認された内容と異なる手順で医薬品を製造するなど、組織的なコンプライアンス欠如により、医薬品医療機器等法に基づく業務停止命令を受けたことを取り上げ、「この影響で、通常どおりの出荷ができていない医薬品が昨年12月時点で約3000品目あり、医療現場では、他の医薬品への処方変更や医薬品卸との頻回な納入交渉など、医療提供に支障を来している」と強調。

## 後発医薬品を始めたとして 医薬品供給不足について

中川会長は、昨年、後発医薬品を製造する企業のうち8社が、国から承認された内容と異なる手順で医薬品を製造するなど、組織的なコンプライアンス欠如により、医薬品医療機器等法に基づく業務停止命令を受けたことを取り上げ、「この影響で、通常どおりの出荷ができていない医薬品が昨年12月時点で約3000品目あり、医療現場では、他の医薬品への処方変更や医薬品卸との頻回な納入交渉など、医療提供に支障を来している」と強調。

中川会長は、これら卒業、入学、就職、花見といった人の移動や交流の機会が増える季節を迎えることを踏まえ、「無症状や症状が軽い方から感染は広がるので、感染対策を徹底して、日常生活を送って頂き、まだワクチン接種を受けていない方は、新生活が始まる前に接種を受けて欲しい」と述べるとともに、疑問や不安がある場合には、かかりつけ医に相談するよう促した。

中川会長は、これら卒業、入学、就職、花見といった人の移動や交流の機会が増える季節を迎えることを踏まえ、「無症状や症状が軽い方から感染は広がるので、感染対策を徹底して、日常生活を送って頂き、まだワクチン接種を受けていない方は、新生活が始まる前に接種を受けて欲しい」と述べるとともに、疑問や不安がある場合には、かかりつけ医に相談するよう促した。

中川会長は、昨年、後発医薬品を製造する企業のうち8社が、国から承認された内容と異なる手順で医薬品を製造するなど、組織的なコンプライアンス欠如により、医薬品医療機器等法に基づく業務停止命令を受けたことを取り上げ、「この影響で、通常どおりの出荷ができていない医薬品が昨年12月時点で約3000品目あり、医療現場では、他の医薬品への処方変更や医薬品卸との頻回な納入交渉など、医療提供に支障を来している」と強調。

本問題は、後発医薬品の製造や出荷の長期間停止・縮小したことが発端ではあるが、その影響を受けて、同じ成分規格や類薬を製造販売する先発品及び後発品メーカーに類薬を製造販売する先発品及び後発品メーカーにおいて、在庫が激減するのを防ぐために出荷を控えたり、新規の受注を断ったりすることも原因となっていると指摘した。

その上で、業界に対しては、供給停止になっただけで、安心して薬物治療を受けて欲しい」と呼び掛けた。

# 予防接種・感染症危機管理対策委員会 HPVワクチンに関する 提言まとめる



釜淵敏常任理事は4月1日からHPVワクチンの積極的勧奨が再開されることを受け、会内の予防接種・感染症危機管理対策委員会が、「HPVワクチン積極的勧奨再開にあたっての提言」を取りまとめたことを公表するとともに、その内容を説明した。

の再開決定を歓迎するとした上で、再開までの8年の空白で、世界的な低下に反して子宮頸がんの発生率・死亡率が高まっているのが国の現状を踏まえ、その最大の予防手段である同ワクチン接種のキャッチアップも含めた早期完全実施を求めるものとなっている。

また、これまでの経緯を踏まえた安全接種体制の確立と事後サポートの充実や、より高い効果と対象の拡大が可能な9価ワクチンへの早期転換も必要としている他、具体的な提言として、別掲の5項目を挙げている。

同常任理事は同提言について、「HPVワクチンの接種が国民にしっかりと受け入れられ、幅広く実施されるようにして欲しいとの願いが込められている」と述べるとともに、日本医師会としても、国民にとってどういった

## 提言項目

1. HPVワクチン積極的勧奨再開を歓迎し、その実施推進へ全国的に協力すること。
2. これまでの経緯を踏まえ、その安全実施体制と事後サポートを強化すること。
3. この間接種出来なかった世代へのキャッチアップと未完了者の補完をすること。
4. ワクチン及びその後も重要ながん検診の重要性について啓発を強化すること。
5. 世界標準となってきた9価ワクチンを男女とも早期に定期接種とすること。

対応が一番適切で、多くの人に受け入れられるかという観点から全力で取り組んできたことを説明した。

その上で、これまで日本医学会とのシンポジウムや公開フォーラム等で議論を深めてきたことや、各地でさまざまな取り組みが行われていることを挙げ、こうした積み重ねの結果、昨年11月の厚生労働省健康局長通知によって積極的勧奨の再開決定に至ったと報告。今後、日本医師会が一番に取り組まなければならないことは、定期接種に直接携わる医師はもとより、接種には携わらない医師も患者もしくは相談者からの訴えをしつかり受け止めて寄り添えるようにするために必要な情報を、その都度アップデートしつかりと伝えていくことに尽きるとした。

## HPVワクチンのキャッチアップ接種

HPVワクチンを積極的に勧奨することが2021年11月によく決まり、2022年4月から再開しました。2013年4月に定期接種になった直後に、接種後に生じたという多様な症状への懸念から、わずか2カ月で積極的勧奨が取り止めに8年が過ぎました。

この間に、HPVワクチンの有効性と安全性についてはもちろんのこと、接種率が激減した「停止世代」の女性が、将来、子宮頸がんの罹患率と死亡率の上昇が予測される研究データも出されました。そのため、「停止世代」の女性へ速やかにキャッチアップ接種の機会の提供と、子宮頸がん検診の受診勧奨の強化を



行う重要性・必要性の声が上がりました。

そこで2021年12月に、この期間に接種を逃した1997年度から2005年度に生まれた女性全てを、来年度から3年間無料接種の対象とすることにになりました。

積極的勧奨の再開に当たり、私達医師はHPVワクチンについても一度情報を整理し、理解を

深める必要があります。安全な接種ができるよう、接種を受ける女性に、現時点における正確な情報をお伝えし、接種する方が納得するような丁寧な説明が求められます。

ワクチンとの因果関係は不明だとしても、接種後に多様な症状が出た場合には、国が指定した協力医療機関と連携を取り、適切な診療が受けられるようにすることも大切です。(かまへら)

## 令和2・3年度 有床診療所委員会最終答申

### まとまる

また、8年の空白期間に接種機会を逃した人のキャッチアップについても重要性を強調した他、厚労省で作成されている各種リーフレットは最新の情報が盛り込まれており、大変優れているとして、その活用を呼び掛け、引き続き組んでいく姿勢を示した。

更に同常任理事は今後について、「HPVワクチンがわが国においても安心して接種してもらえ、体制と、接種後に体調の変化が起こった場合に相談できる体制をしっかりと確立することが日本医師会としての責務だと思っっている」と述べ、引き続き取り組んでいく姿勢を示した。

「はじめに」では、コロナ禍において、「全国の有床診療所は発熱外来やワクチン接種、宿泊療養患者、自宅待機・自宅療養者の往診等の外来機能だけでなく、コロナ感染症対応応急病院の後方支援病床として入院機能を発揮し、地域に身近な役割を果たしてきた」と指摘。平時・有事を問わず、かかりつけ医としての身近な病床を活用し、患者中心の医療の実現を目指すことが重要と述べている。

(1)では、まず、有床診療所は24時間の診療体制を敷き、コロナ禍にあっては、発熱外来やPCR検査等の診療対応を行うとともに、在宅療養者に対しても往診等で24時間対応していることを報告した上で、特にワクチン接種で大きな力を発揮したことに加え、2021年9月に発表された日医総研のワーキングペーパーによると、個別接種は全体の7割の有床診療所で実施され、うち内科施設では9割が院内と在宅で実施されていることを紹介した上で、集団接種や職域接種については、有床診療所の特性を生かして対応し、日本全体のコロナ禍対応の中で果たしている有床診療所の役割は十分に評価されるべきであると強調している。

更に、コロナ禍におけるオンライン診療については、主治医同席の下、他の医療機関の医師がオンライン診療を行う「to P with D」に関して、有床診療所に入院中の患者を他科受診させた場合の活用が考えられるとの見解を示している。

(2)では、全世代型地域包括ケアシステムの



で、答申書を取りまとめた。

答申は、「はじめに」、「(1)有床診療所と新型コロナウイルス感染症の流行」、「(2)全世代型地域包括ケアシステムのなか核としての有床診療所」、「(3)有床診療所の経営の安定から承継まで」、「(4)専門医療からなる」となっている。

「はじめに」では、コロナ禍において、「全国の有床診療所は発熱外来やワクチン接種、宿泊療養患者、自宅待機・自宅療養者の往診等の外来機能だけでなく、コロナ感染症対応応急病院の後方支援病床として入院機能を発揮し、地域に身近な役割を果たしてきた」と指摘。平時・有事を問わず、かかりつけ医としての身近な病床を活用し、患者中心の医療の実現を目指すことが重要と述べている。

(1)では、まず、有床診療所は24時間の診療体制を敷き、コロナ禍にあっては、発熱外来やPCR検査等の診療対応を行うとともに、在宅療養者に対しても往診等で24時間対応していることを報告した上で、特にワクチン接種で大きな力を発揮したことに加え、2021年9月に発表された日医総研のワーキングペーパーによると、個別接種は全体の7割の有床診療所で実施され、うち内科施設では9割が院内と在宅で実施されていることを紹介した上で、集団接種や職域接種については、有床診療所の特性を生かして対応し、日本全体のコロナ禍対応の中で果たしている有床診療所の役割は十分に評価されるべきであると強調している。

更に、コロナ禍におけるオンライン診療については、主治医同席の下、他の医療機関の医師がオンライン診療を行う「to P with D」に関して、有床診療所に入院中の患者を他科受診させた場合の活用が考えられるとの見解を示している。

(2)では、全世代型地域包括ケアシステムの

中核としての有床診療所について触れ、有床診療所が医療と介護を力にし、また、多職種のパイプ役として、地域包括ケアシステムの中核となり得ると強調。

更に、ICTの活用により、有床診療所の空床情報をリアルタイムに発信することによる病診連携、診診連携の推進等についても明示されている。

(3)では、有床診療所の経営の安定から事業承継について触れ、経営問題、人材確保面と経費削減、税制、新たな施設体系的議論等に関して記されている他、(4)では、専門医療として眼科、産科における働き方改革及び整形外科の現状分析を基に、その改善策について触れている。

会見で最終答申の内容を説明した神村常任理事は、有床診療所は外来機能以外にさまざまな可能性のある施設形態であるとした上で、施設規模や従業員数も比較的大きい有床診療所によるワクチン接種における活躍を例に挙げ、全国的に大きな役割を果たしていることを改めて強調。「今回の答申の内容・要望に沿い、日本医師会としても、地域に寄り添って活動している有床診療所に対して、引き続き支援を行っていきたい」との意向を示した。

人事課 03-3942-6493・総務課 03-3942-6481 / 03-3942-6477・施設課 03-3942-7027・経理課 03-3942-6486・広報課 03-3942-6483・情報システム課 03-3942-6135・企画情報室 03-3942-6482 / 電子認証センター 03-3942-7005 / 0  
医療保険課 03-3942-6490 / 介護保険課 03-3942-6491 / 医薬品管理課 03-3942-6492 / 生涯教育課 03-3942-6139 / 編集企画室 03-3942-6488 / 日本医学会 03-3942-6140 / 医学図書館 03-3942-6489 / 0

# 南から北から

埼玉県浦和医師会報 第738号より  
父の一言  
古要 俊也



私の物持ちの良さは、驚きの域を超えて、呆れの域に達していると言われられる。今年の夏も、私が大学に合格して一人暮らしを始めた1978年に、親からの仕送りで購入した扇風機のお世話になった。妻からは、いつモーターから火を噴くか分からないので、使用禁止の詔が下っているが、一本一本溶接で作られた羽根の金属ガードもさびておらず、働き盛りの現役選手である。

石川県金沢市医師会だより 第582号より  
最後の晩餐  
池野 恒久



新型コロナワクチンの予防接種で診療所の先生、職員共にてんてこ舞いの今日この頃です。私のクリニックでは、ワクチン専用の接種日や日曜日の接種日を設けて対応しています。どんなに忙しくて疲れていても、時間が来るとお腹がペコリンになり、うまい物を食べたくなります。

扇風機もストープも、季節が終わると、奇麗に拭かれて、機械油を付けて元の箱に収納された。雛人形に至っては、人形の毛に虫が付くといけないうと、一体一人形の頭に樟脳(ナフタレン)の代わりに使用される防虫剤(を)付け、和紙で頭巾を作り、上半身に被せて収納された。

は、人々につまらない生活を強いることとなったが、自由に好きなことができる私たちの生活に、一つの忠告を与えたのではないだろうか。

何と変わらぬ過ぎたこと、何も無かったことに感謝をする人が少なくなつたように思う。何も無く過ぎるといふことが、いかに脆く崩れやすいものであるか、また多くの人の努力によって支えられているかを忘れないうで、一年一年を過ごしたいと思っている。

ゆくゆくを自分の余命と重ねながら、おいしそうにお弁当を食べていました。今の私は明日を生きるため、仕事をするために、もりもりメシを食へます。服にはこだわりはありませんが、食べものは地産物にこだわります。自分好みを好きなだけ買って来て、献立を考えますが、全く作りません。正確には作れません。もし、女房が死んだら、数日以内にミイラになってしまします。今は元気で、あつと何十年かするとよぼよぼになっていると思ひます。

先日、NHKの番組で、咲き誇る桜・散りゆく桜を見ながらお弁当を食べている夫婦が映っていました。よく見ると、少し前に病で仕事を辞めた役時代はメシなんかより仕事だ……という感じでエネルギーに働いていた先生でしたが、画面の中では、穏やかに、しみじみと奥様と2人、散り

人生の最後の食事は、豪華でなくてもいい。旬なものでもなくていい。普段から食べている自分の好きなものを、普段どおりに食べて、最後にぐちそうさまと言えれば、満足なのではないと思ひます。

新潟県長岡市医師会だより NO.487より  
Let it Be  
江部 佑輔



先日、村上春樹さんの新作を読んだ。そのなかに「ウィズ・ザ・ビートルズ」という一編があった。高校時代の甘酸っぱい、そして不思議な話である。彼の前を通り過ぎた女子が胸を抱えていた「ウィズ・ザ・ビートルズ」であった。彼はその彼女と二度と巡り合うことはなかった。ただ幻想化された彼女とレコードジャケットの記憶が鮮明に残った。

私もビートルズの思い出はある。が、残念ながらも甘くも酸っぱくもありません。幼少の頃、クリスマス時期、古町の百貨店に連れて行ってもらった時、町に流れていた曲が「レット・イット・ビー」だった。当然それがビートルズの曲だと知る由もなかった。でもその曲はしばらく私の耳に残った。

小学校時代はテレビで流れる当時のアイドルの曲にハマっていた。その頃、日曜午後「TVジョッキー日曜大行進」という番組をやっていた。番組の内容などはほぼ記憶していないが、合間のCMが印象に残っている。エドウィン・CMで、下着の女性がジーンズを

だが、CDと違って途中からうまく再生するなどという技はなく、A面一曲目から聴くことになった。私は慎重に針を置いた。「ラブ・ミー・ドゥ」。衝撃的であった。更に「プリーズ・プリーズ・ミー」「フロム・ミー・トゥ・ユー」と来た。全てが初体験で、激しい興奮を覚えた。そして「シー・ラブス・ユー」であった。もうこの日から私にとって、洋楽、いや音楽はビートルズになった。

各々でレコードを買って貸し合った。カセットテープが机の上に増えていった。自身で編集したオリジナルアルバムを作成した。その後FMで他のミュージシャンの音楽もチェックするようになった。大学に入った頃にはビートルズはほとんど聴くことはなく、全盛期のMTVで流れるポップな洋楽を見るようになっていった。机の上に散らかっていたカセットテープは消え、CDそしてMDと変わった。仕事が忙しくなると音楽を聴く時間も忘れられた。

数年前I君と再会した。I君はプロではないが、ミュージシャンとして東京や長岡でライブをこなしていた。バーで飲んでみると、彼の音楽人生を変えたのが、わが家で聴いたビートルズだったと知った。私は久しぶりにビートルズを聴きたくなりCDを買った。懐かしい曲を一曲ずつ噛み締めた。しかし、レコードで聴いた時ほどの感動がなかった。針を置く煩わしさ、時に針が飛ぶこともCDではないが、何か物足りない感じだった。

更にI君がビートルズの後期の名曲を集めた青盤もあることを教えてくれた。私はお年玉の他の用途などお構いなく青盤を購入した。一曲目「ストロベリー・フィールズ・フォーエバー」は赤盤の曲とは明らかに違っていた。そこから続く全ての曲に心が躍った。青盤の2枚目B面、「ヒア・カムズ・ザ・サン」から「オクトパス・ガーデン」まで言葉も忘れて聴いた。そして一瞬の静寂の後、あの曲が始まる。私が幼少期に古町で聴いたあの曲であった。私のビートルズの原点にここで出会ったことになった。

私達3人はその後、

最近アナログブームでレコードが復刻していると聞いた。衝動買いをすると家内から白い目で見られそうだが、今その日をひそかな楽しみにしている。(一部省略)

# 令和3年度 (第55回) 臨床検査精度管理調査報告会

## 臨床検査機関の精度管理向上を目指して

第55回臨床検査精度管理調査報告会の動画収録が3月11日、日本医師会館小講堂で行われた。

本報告会は、従来、参加施設が一堂に会して行われてきたが、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、前年度に引き続き、動画の配信等に対応することになった。

当日は、3215施設が参加した第55回臨床検査精度管理調査に関する

小講堂で行われた。本報告会は、従来、参加施設が一堂に会して行われてきたが、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、前年度に引き続き、動画の配信等に対応することになった。

当日は、3215施設が参加した第55回臨床検査精度管理調査に関する

小講堂で行われた。本報告会は、従来、参加施設が一堂に会して行われてきたが、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、前年度に引き続き、動画の配信等に対応することになった。

当日は、3215施設が参加した第55回臨床検査精度管理調査に関する

小講堂で行われた。本報告会は、従来、参加施設が一堂に会して行われてきたが、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、前年度に引き続き、動画の配信等に対応することになった。

当日は、3215施設が参加した第55回臨床検査精度管理調査に関する

小講堂で行われた。本報告会は、従来、参加施設が一堂に会して行われてきたが、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、前年度に引き続き、動画の配信等に対応することになった。

当日は、3215施設が参加した第55回臨床検査精度管理調査に関する

小講堂で行われた。本報告会は、従来、参加施設が一堂に会して行われてきたが、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、前年度に引き続き、動画の配信等に対応することになった。

当日は、3215施設が参加した第55回臨床検査精度管理調査に関する

小講堂で行われた。本報告会は、従来、参加施設が一堂に会して行われてきたが、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、前年度に引き続き、動画の配信等に対応することになった。

当日は、3215施設が参加した第55回臨床検査精度管理調査に関する

小講堂で行われた。本報告会は、従来、参加施設が一堂に会して行われてきたが、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、前年度に引き続き、動画の配信等に対応することになった。

当日は、3215施設が参加した第55回臨床検査精度管理調査に関する

小講堂で行われた。本報告会は、従来、参加施設が一堂に会して行われてきたが、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、前年度に引き続き、動画の配信等に対応することになった。

当日は、3215施設が参加した第55回臨床検査精度管理調査に関する



また、今回の結果について、(1)トリーサビリティ確認は90・2〜95・2(92・4±1・3)％の施設で実施されており、年々増加している、(2)臨床化学一般項目、酵素項目では結果のバラツキが小さく、施設間互換性が確保できている状態と考える、(3)酵素項目はJSCC勧告法、日本・常用酵素標準物質(JC・ERM)の普及で収束が進んでいる、(4)腫瘍マーカーのばらつきは改善されておらず、装置・試薬間の差が大きい、(5)血球検査(CBC)はほぼ満足できる収束であった、(6)プロトロンビン時間国際標準比(P-TINR)は治療上重要な指標であり、全体評価が可能な改善が必要、(7)免疫学的測定法は試薬・装置間差が大きく、今後の改善が必要——などを説明。

今後は、同一施設内の複数機器・試薬(緊急検査用や装置)に対する調査の実施も検討していきたいとした。

その上で、高木委員長は、コロナ禍にあって、臨床検査の重要性と同時に、精度管理の重要性が国民に認識されたと指摘。国民の健康増進のためには、適切に精度管理された正確な検査結果を国民に返却する必要があり、今後とも国の臨床検査機関の精度管理の向上のために、日本医師会臨床検査精度管理検討委員会は活動を続けていくとの決意を示した。

なお、今回収録した動画は調査に参加した施設が見られるように、4月5日より日本医師会臨床検査報告管理調査の専用ホームページに掲載することになっている。

### 全国国民年金基金 日本医師・従業員支部案内

基金掛金の1年前納について  
国民年金保険料と合算の方の  
引き落とし日は5月2日です

令和4年度分の基金掛金を国民年金保険料と合算して1年前納されている加入者の方について、5月2日にご指定の金融機関口座より、基金掛金及び国民年金保険料の引き落としが行われます。

引き落としとなる金額については、事前に「引落案内通知書」にてお知らせいたします。残高不足等で引き落としができなかった場合、本年度分

の掛金納付は自動的に毎月払いの引き落としに変更となります。

この場合、前納による割引制度の適用が受けられなくなり、お早めにお引き落とし口座のご確認をお願いいたします。

また、国民年金保険料と合算せずに基金掛金のみを前納とされている方については、改めてご案内しますが、今年6月1日が引き落とし予定日

となります。

国民年金基金は、不確実な将来への備えとして、国民年金に上乗せを行う「公的な年金制度」であり、掛金の1年前納による割引制度の他、掛金全額が社会保険料控除の対象となるなど、優れた税制上の優遇措置も設けられています。

未加入の方は、国民年金基金への加入をご検討願います。

問い合わせは基金事務局(☎0120-700650)まで。





「生命を見つめるフォト&エッセー」は、平成29年度から始め、現在は日本医師会と読売新聞社の主催、厚生労働省、文部科学省の後援、東京海上日動火災保険株式会社、東京海上日動あんしん生命保険会社の協賛に

より実施しているコンテストで、令和3年度は5回目を実施した。

令和3年5月13日に読売新聞の社告をもって募集を開始し、10月6日に締め切った結果、「フォト部門」は「一般の部」2428点、「小中高生の部」では、文部科学大臣賞、優秀賞3点を、「エッセー部門」は第一次・第二次・最終審査を経て、「一般の部」では、厚生労働大臣賞、日本医師会賞、読売新聞社賞、審査員特別賞(2編)の他、入選4編、「小中高生の部」では、文部科

第5回 生命を見つめる フォト&エッセー

日本医師会賞受賞作品紹介

「生命を見つめるフォト&エッセー」は、平成29年度から始め、現在は日本医師会と読売新聞社の主催、厚生労働省、文部科学省の後援、東京海上日動火災保険株式会社、東京海上日動あんしん生命保険会社の協賛に

より実施しているコンテストで、令和3年度は5回目を実施した。

令和3年5月13日に読売新聞の社告をもって募集を開始し、10月6日に締め切った結果、「フォト部門」は「一般の部」2428点、「小中高生の部」では、文部科



「至福の時間」  
下須賀 誠 岡山県・72歳 ※年齢は応募時点

「生命を見つめるフォト&エッセー」は、平成29年度から始め、現在は日本医師会と読売新聞社の主催、厚生労働省、文部科学省の後援、東京海上日動火災保険株式会社、東京海上日動あんしん生命保険会社の協賛に

より実施しているコンテストで、令和3年度は5回目を実施した。

令和3年5月13日に読売新聞の社告をもって募集を開始し、10月6日に締め切った結果、「フォト部門」は「一般の部」2428点、「小中高生の部」では、文部科

エッセー部門 一般の部 日本医師会賞

「『わたし』の肯定」  
小松崎 有美 埼玉県・37歳 ※年齢は応募時点



「生命を見つめるフォト&エッセー」は、平成29年度から始め、現在は日本医師会と読売新聞社の主催、厚生労働省、文部科学省の後援、東京海上日動火災保険株式会社、東京海上日動あんしん生命保険会社の協賛に

より実施しているコンテストで、令和3年度は5回目を実施した。

令和3年5月13日に読売新聞の社告をもって募集を開始し、10月6日に締め切った結果、「フォト部門」は「一般の部」2428点、「小中高生の部」では、文部科

兄がいなければ、兄が病気になんかならなければ、兄が筋ジストロフィーと診断されて30年。私は幾度もそう思って生きてきた。

この病気は現在に至っても、治療方法、薬の開発に至らず、不治の病とされる。案の定、兄は10歳で歩けなくなり、20歳で寝たきりに。6年前には人工呼吸器をつけ、翌

「筋ジストロフィーの患者さんは治療法もないんだから、そんなに頻繁に来なくてもいいよ。」と、大病院で言われたときは皆でショックを受けた。

だが兄は人工呼吸器をつけてからも新幹線に乗って「絢香」のコンサートに行ったり、飛行機で北海道旅行もした。自分で介助者をつけ、車椅子の寸法なども窓口に伝えて座席を確保した。まるで自分の存在を社会に認めさせるかのよう。

「体を拭きますよ。」母やヘルパーさんの声がする度、兄ばかり可愛がられていたようで嫉妬がらからそうだ。病気がだから仕方ない。そう思っていたけれど、やっぱり、悔しかった。

ただ兄も紆余曲折を経てここまでやって来た。完全に歩けなくなると大好きだったサッカーをやめ、呼吸器を強くするために吹奏楽部に入った。「なんでこんな身体に生んだんだよ。」と母に言ったのは後にも先にも一度しかない。それは吹奏楽の強い高校への入学を拒否された時だった。病気の向こうに立ちほだか、社会のハードルは思った以上に高く、進むべき足もき取られるようだった。

「オムツをかえますよ。一日中ベッドに横た

わり、死を待つような状態だ。ただ意識ははっきりとしている。何かあればかろうじて動く右手の人さし指でゴールを鳴らし、ひらがなのボードに目線を動かして「言葉」を発する。

先月ヘルパーさんによる年に1度の聞き取り調査があった。そこで兄は「趣味や希望はありますか。」と聞かれたらしい。何だかすごく不謹慎な質問。しかし兄は「長生きをすること。父が42歳で逝ったから、僕はその歳をこえたい。」と言ったそう。それを聞いて目頭が熱くなった。何でも病気のせいにしてきたが、それは間違っていた。胃腸が何だ。人工呼吸器が何だ。寝たきりが何だ。生きることほただそれだけでいいんだ。そんな兄の心の声が聴こえた気がした。

人間は自ら望んで生まれてきたのではなく、自分の運命すら選択できない存在だ。筋ジストロフィーの患者たちは歩けなくなった時点から、人生とはなんと納得のいかに不条理なものかといつた実感を抱いている。だからこそ残された器官で、残された時間を懸命に生きることが、受け入れがたい現実を受け入れるたつた一つの道なのかもしれない。

まだまだ、いけるよ兄貴。

「オムツをかえますよ。一日中ベッドに横た

わり、死を待つような状態だ。ただ意識ははっきりとしている。何かあればかろうじて動く右手の人さし指でゴールを鳴らし、ひらがなのボードに目線を動かして「言葉」を発する。

先月ヘルパーさんによる年に1度の聞き取り調査があった。そこで兄は「趣味や希望はありますか。」と聞かれたらしい。何だかすごく不謹慎な質問。しかし兄は「長生きをすること。父が42歳で逝ったから、僕はその歳をこえたい。」と言ったそう。それを聞いて目頭が熱くなった。何でも病気のせいにしてきたが、それは間違っていた。胃腸が何だ。人工呼吸器が何だ。寝たきりが何だ。生きることほただそれだけでいいんだ。そんな兄の心の声が聴こえた気がした。

「オムツをかえますよ。一日中ベッドに横た

わり、死を待つような状態だ。ただ意識ははっきりとしている。何かあればかろうじて動く右手の人さし指でゴールを鳴らし、ひらがなのボードに目線を動かして「言葉」を発する。

先月ヘルパーさんによる年に1度の聞き取り調査があった。そこで兄は「趣味や希望はありますか。」と聞かれたらしい。何だかすごく不謹慎な質問。しかし兄は「長生きをすること。父が42歳で逝ったから、僕はその歳をこえたい。」と言ったそう。それを聞いて目頭が熱くなった。何でも病気のせいにしてきたが、それは間違っていた。胃腸が何だ。人工呼吸器が何だ。寝たきりが何だ。生きることほただそれだけでいいんだ。そんな兄の心の声が聴こえた気がした。

人間は自ら望んで生まれてきたのではなく、自分の運命すら選択できない存在だ。筋ジストロフィーの患者たちは歩けなくなった時点から、人生とはなんと納得のいかに不条理なものかといつた実感を抱いている。だからこそ残された器官で、残された時間を懸命に生きることが、受け入れがたい現実を受け入れるたつた一つの道なのかもしれない。

まだまだ、いけるよ兄貴。

「オムツをかえますよ。一日中ベッドに横た

わり、死を待つような状態だ。ただ意識ははっきりとしている。何かあればかろうじて動く右手の人さし指でゴールを鳴らし、ひらがなのボードに目線を動かして「言葉」を発する。

先月ヘルパーさんによる年に1度の聞き取り調査があった。そこで兄は「趣味や希望はありますか。」と聞かれたらしい。何だかすごく不謹慎な質問。しかし兄は「長生きをすること。父が42歳で逝ったから、僕はその歳をこえたい。」と言ったそう。それを聞いて目頭が熱くなった。何でも病気のせいにしてきたが、それは間違っていた。胃腸が何だ。人工呼吸器が何だ。寝たきりが何だ。生きることほただそれだけでいいんだ。そんな兄の心の声が聴こえた気がした。

お知らせ

第5回「生命を見つめるフォト&エッセー」の全ての受賞作品を掲載した冊子を、『日医雑誌』5月号に同梱してお送りする予定としています。ぜひ、ご一読頂くとともに、待合室などに置くなど、ご活用願います。

日本医師会広報課

# 政府 医療機関等への支援措置延長を決定

政府は3月16日、医療機関に対するコロナ関連支援措置を下記のとおり延長することを決定した。日本医師会では都道府県医師会からの要望を受けて、中川俊男会長始め各役員が財政支援の延長等を求めてきたが、その要望が実現したものである。  
支援措置の対象機関等については、日本医師会から発出した事務連絡等をご参照願いたい。

財政支援措置の延長			
措置内容	現行の期限	対象地域	延長内容
診療・検査医療機関が公表されている場合の診療報酬加算 (300点⇒550点)	3月末	全国	7月末まで
高齢者施設等に看護職員を派遣した場合の8280円/時間の補助	重点措置期間	全国	7月末まで
転入院支援のための確保病床への緊急支援 (450万円/床)	重点措置期間	全国	7月末まで

経過措置の延長			
措置内容	現行の期限	対象地域	延長内容
外部委託する場合のPCR検査料(診療報酬点数)の経過措置 (1350点) ※感染状況等を踏まえ、4月から700点の予定	3月末	全国	6月末まで850点

重点措置地域の支援措置に関する経過措置			
措置内容	現行の期限	対象地域	延長内容
高齢者施設等の施設内療養を行う施設への補助の拡充 (最大15万円⇒30万円)	重点措置期間	重点措置地域	4月末まで (3月21日までの重点措置対象18県)
電話等初再診の診療報酬の追加的対応 (250点⇒500点)	重点措置期間	重点措置地域	4月末まで (3月21日までの重点措置対象18県)
救急受入のための確保病床への緊急支援 (450万円/床)	重点措置期間	重点措置地域 (東京都及び政令市)	4月末まで (3月21日までの重点措置地域の東京都及び政令市)

※厚生労働省資料より一部改変



## 日医総研だより

### エストニアの電子政府と

### ウクライナ紛争

エストニアはバルト海に面した人口130万人、足らずの小国であるが、ICT先進国として名高い。国連の電子政府調査において世界3位にランキングしており、日本のマイナンバーカードはエストニアの個人識別コード(Personal Identification Card)を参考にしたと言われている。回国では医療分野のデジタル化においても日本とは違う形で進化を遂げている。例えば、エストニアでは患者情報を複数の医療機関で利用する際に、電子カルテ同士が接続されているのではなく、政府のデジタル化の基盤となるポータルサイト(X-Road)に医師が診療情報を入力することで、相互参照が可能となる仕組みを採用している。

エストニアでは結婚、離婚、不動産売買以外の行政手続きは全てオンライン上で可能であり、役所に行くという事はほとんどないとのこと。また、ICT教育も盛んで、小学校からプログラミングの授業があり、人材育成にも力を入れている。また、エストニアの歴史は中世に遡るが、現代史においては1990年にソビエト連邦から独立した新興国とも言える。2016年にエストニアを訪問した際、エストニア政府に、どうしてICTにこれほど力を入れているのかと聞いたところ、以下の二つの理由を挙げた。

第一は、旧ソ連から独立し資源も外貨もない中で外貨を稼ぐためにICT立国を国是としたこと。第二としては、万が一、ロシアに再占領されてエストニア国民が全世界に散らばっても、エストニア国を成立させるため、その当時は、冷戦時代の過剰反応だろうと思って聞いていた。(日医総研副所長 原 祐一)

独立国を占領するような国があるはずがない。しかし、今回のロシア軍のウクライナ侵攻でエストニアを始めとした旧東側諸国のロシアに対する恐怖心が分かった。本原稿は2022年3月上旬に執筆したものであるが、ウクライナの戦火はますます拡大している。一刻も早い平和が訪れることを願う。

**お知らせ**  
日医君グッズ「付箋」を特別価格で販売

日医君グッズとして好評販売中の「付箋」(たて、よこ)の価格〔通常価格550円(税込)〕を特別価格〔いずれも250円(税込)〕で販売しています。ぜひ、この機会にお買い求め下さい。

日本医師会広報課

日本医師会ホームページ  
「日医君(にちいくん)」グッズ販売  
[http://www.med.or.jp/people/info/people\\_info/008936.html](http://www.med.or.jp/people/info/people_info/008936.html)

詳しくは